

みんなの ひろば

ルールを守って安全運転

新見千屋で交通安全県境テント村開設

交通安全の意識を高めよう

と、5月5日、交通安全県境テント村が、新見千屋温泉入口で開設され、ドライバーに

安全運転を呼びかけました。

この日は、鳥取・岡山県の関係者70人が参加し、行楽に出かける通行車両に手作りのマスコットやチラシなどを配りました。



通行車両に交通安全を呼びかける

参加者は、交通ルールを守って安全運転をしてください」と呼びかけていました。テント村は、県交通安全協会黒坂地区協会と新見交通安全協会千屋支部が、交通安全を願って春と秋に岡山県側と鳥取県側（明地峠）で交互に開設しています。

いつまでも

学ぶ気持ちで

おしどり学園が開講

生涯学習の推進とお互いの

親睦を図ろうと、4月18日、おしどり学園の開講式が、町公民館で開かれました。

開講式では、学園生を代表して赤木政男さん（下黒坂）が「いろいろ学びながら健康で楽しい1年を過ごしましょう」とあいさつ。その後、桜が満開の滝山公園で食事をしながら親睦を図りました。

今年の学園生は94人。生活・現代課題などをテーマに学ぶ一般教養と生花・園芸・料理・グラウンドゴルフなど六つの各専門グループに分かれ、知識を深めていきます。同学園は、町内65歳以上の人を対象に年間10回開かれる予定になっています。



1年間学ぶ気持ちを誓う学園生

着物がすてきな洋服に変身

町公民館で和服リフォームファッションショー

タンスなどに眠っている和服を洋服に仕立て直した作品を発表しようと、4月15日、和服リフォームファッションショーが、町公民館で開かれました。

同公民館で活動しているリフォーム教室の会員らが、自分たちで和服から洋服に仕立て直した作品を披露。米子市や淀江町で活動しているグループの協力を得て、ファッションショーを開きました。

会員らがモデルになり、一人ずつ、和服からワンピースやコート、スーツなどの洋服に仕立て直した作品を着て、

舞台の上を歩きながら、特徴、素材などを紹介していました。リフォーム教室の講師、金田千恵子さん（中菅）は、「これからこのような催しを開き、今デザインしている服を発表したいです」と抱負を述べていました。

会場には、約120人が訪れ、「着れなくなった服が生まれ変わって感激した」「自分もぜひ作ってみたい」などと話し、モデルが登場する度に大きな拍手を送っていました。

リフォーム教室は、今年1月に開講し、金田さんを講師に会員6人で活動しています。



衣装を着替え作品を披露する会員ら